



安全・安定輸送確立・組織の強化拡大
労働条件の改善をめざす

大運動ニュース

なんでも相談E-mail info@kokurou.com **秘密厳守**

2022年3月26日

国鉄労働組合広島地方本部

発行責任者 佐々木 隆一

編集責任者 徳永 聖

No1885

春闘回答 四国会社3/24

2年連続でベア・ゼロ回答

▼定期昇給のみ実施

▼C単価の引きあげなど

一昨日、四国会社は国労の春闘要求に対し回答を行ないました。会社は、コロナ禍の現状を最大の理由に2年連続のベアゼロ回答を行ないました。

その他の要求項目に関して、定期昇給の実施、C単価を25/100から、28/100に引きあげる、特急通勤適用要件の緩和などが明らかにされています。

四国会社は、「四国における鉄道ネットワークのあり方に関する懇談会II」において、「四国の鉄道ネットワークを維持する」「鉄道の抜本的な高速化を進める」とする提言の履行に向けて、人件費の削減が続いています。「あり方懇」の中間整理等を踏まえ、4県・自治体の取り組みも合わせて、2025年度までは、「経営基盤の再検討」「徹底したコスト削減」推進の

実態として読み取れます。

JR7社のうち、最後の回答となった西日本会社では、来週の回答が予測されています。会社は、我々の主張とは大きな乖離があり、未だに最終交渉での会社の姿勢を崩していないと言われています。

無くならない

待避不良・労災事故

山陽本線・徳山管理室管内で

昨日、14時41分ごろ、レール探傷検査を行っていた社員が、下り列車運転士から「待避不良」により、2度の汽笛吹鳴を受ける事象がおきました。報告では、検査線が上り線であるにも関わらず、下り線に進出したことによるものとされています。また、列車は現場5メートル手前で緊急停車したと報告されており、命が危険に晒さ

れています。この職場は、何年前だったか、上・下線を間違えて作業を行ない汽笛吹鳴を受けた事象があったように思いますが。その時も、施設社員が間違う？と疑問を呈した様に思いますが。どこに原因があるのか？

また、労災事故が無くならない広島支社。23日に開催した、支社経営協・事業計画の説明資料はA41枚で、「2017年に掲げた『00345』目標は達成できないから削除したのか」と質したところでした。

本部・鈴木組織部長を迎え 第2回組織対策会議を開催

本日、広島地方本部は、新入社員の配属を踏まえ、組織対策会議を開催しました。採用された社員の全てが連合の組合に入する歴史が続いている中で、国労の目に見える行動と、「国労に加入」を呼びかけ、実践の重要性を語り合いました。

今回は、国労本部から鈴木組織部長を招いて全国の取り組み報告も頂きました。



鈴木組織部長